

一名護市の防災・防犯分野における課題とToBe像

As-Is

内部環境	Strengths (強み)	<ul style="list-style-type: none">● 名護市防災ポータル上でハザードマップや指定緊急場所を開示し、防災無線防災やエリアメールの対応を行っている● 市HPや携帯アプリ（LINE）等を用いた防災情報管理システムを導入し、情報を一元的に集約し、初動対応を円滑に行うことが可能な体制を構築している
	Weaknesses (弱み)	<ul style="list-style-type: none">● 市街地の大半の地域が津波浸水の高い地域となっている● 台風の接近による暴風雨・豪雨による災害が頻繁に発生する● 一部地域で人口流出が進み、市街地や住宅地で空き家を含む老朽建造物が点在している● 現在用いている連絡ツール（防災無線、LINEによる情報発信）だけですべての市民に情報が行き届いていない
外部環境	Opportunities (機会)	<ul style="list-style-type: none">● 政府による南海トラフ巨大地震の被害想定等の広報活動から、防災に関する危機意識が高まっている● コロナウイルス感染症による教訓を踏まえ、企業活動におけるレジリエンス経営（BCP策定等）に対する意識が高まっている● デジタルを活用した防災・防犯に対する技術が近年進展している
	Threats (脅威)	<ul style="list-style-type: none">● 地球温暖化に伴う異常気象の激甚化・頻発化が今後も予想されている● サイバー犯罪等の犯罪に対する手口が高度化している

ToBe

コンセプト

災害や犯罪に強く、住む・訪れる人の誰もが
安心・安全に感じられるまちづくり（仮）

名護市の
関連計画で
整理された内容

- ① 人命被害ゼロを目標として、災害時の被害を最小化し、被害の迅速な回復を図る
- ② 地域で生き活きと安心して暮らす

※①名護市地域防災計画／②名護市国民保護計画

目指す状態

名護市全体

- ✓ 自然災害や犯罪対策に対し、全ての市民に緊急時の情報伝達ができている状態
- ✓ 関連機関内で防災・防犯対策を執り行う体制が構築されている状態
- ✓ 地域コミュニティを中心に防災・防犯対策がなされている状態

市民

- ✓ 緊急避難場所を認識している状態
- ✓ 犯罪に巻き込まれることなく安心して暮らせる状態

観光客

- ✓ 災害時の適切な避難場所が伝わっている状態
- ✓ 適切な避難場所が確保されている状態

高齢者、障がい者

- ✓ 災害警報等の情報を遅れることなく知ることができる状態
- ✓ 安全な交通運転ができている状態

事業者

- ✓ 各事業者がBCP計画を策定し、罹災後も早期復旧ができる状態